

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2000-280494(P2000-280494A)

【公開日】平成12年10月10日(2000.10.10)

【出願番号】特願平11-93379

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 3/04 1 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月17日(2006.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 記録ヘッドのノズルからインクを吐出し、被記録材に当該インクによる画像を形成するインクジェット記録装置において、

気泡が混入したインクを前記ノズルから排出することを主目的として所定量のインクを前記記録ヘッドのフェイス面から吸引する第一のモードの吸引動作と、

前記第一のモードの吸引量よりも少ない量のインクを前記フェイス面から吸引し、かつ、吸引したインクで前記フェイス面を湿潤させた状態で所定時間待機する第二のモードの吸引動作と、

を実行することを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明は、記録ヘッドのノズルからインクを吐出し、被記録材に当該インクによる画像を形成するインクジェット記録装置において、気泡が混入したインクを前記ノズルから排出することを主目的として所定量のインクを前記記録ヘッドのフェイス面から吸引する第一のモードの吸引動作と、前記第一のモードの吸引量よりも少ない量のインクを前記フェイス面から吸引し、かつ、吸引したインクで前記フェイス面を湿潤させた状態で所定時間待機する第二のモードの吸引動作とを実行することを特徴とする。